

平川市スポーツ推進計画

平成 29～33 年度(2017～2021 年度)



平川市陸上競技場

平成29年3月

平川市教育委員会

目 次

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画期間	3

第2章 現状と課題

1. 人口について	4
2. 健康について	5
3. 子どもの体力・運動能力について	7
4. スポーツ環境について	8
①スポーツ関連団体	
②スポーツ推進委員	
5. スポーツ施策	13
6. スポーツ施設	14
7. スポーツ施設利用実績	22

第3章 これからの方針、スポーツ推進計画

1. 基本方針	23
2. スポーツ・レクリエーション活動の充実	24
①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	
②総合型地域スポーツクラブの育成	
③健康づくりのための運動の推進	
3. 夢に向かう競技スポーツの推進	27
①次世代を担うアスリートの発掘・育成	
4. スポーツ施設の環境整備と利活用	28
①施設の維持管理および利活用	
5. 平川市スポーツ推進計画施策の体系図	30

《参考資料》

○用語解説	31
○平川市スポーツ推進審議会委員名簿	34
○平川市スポーツ推進委員名簿	35

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

スポーツ^①は、心身の健全な発達を促し、生活に生きがいや潤いをもたらすとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与するものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有しています。

当市では、平成24年に「平川市生涯スポーツ推進計画」を策定し、様々なスポーツ振興施策に取り組んできました。その結果、東北大会や全国大会をはじめ、各種大会において活躍する当市出身選手が増加するなど、一定の成果がみられるようになりました。

一方、国においては平成23年に「スポーツ基本法」^②が制定され、国民のスポーツ権が認められるとともに、スポーツがもつ様々な価値や意義を踏まえたスポーツの推進を図ることの重要性が示され、平成24年には「スポーツ基本計画」^③が策定されました。

また、平成26年には、2020年オリンピック、パラリンピックの東京開催が決定し、平成27年には専門的な行政機関としてスポーツ庁を設置するなど、国際競技力の向上に向けた新たな取組、スポーツ立国に向けた動きが加速しております。

青森県においても、平成28年に「青森県スポーツ推進計画」^④を策定し、選手の指導、育成、県民の健康づくり、地域の活性化、社会の変化に対応したスポーツ推進を図ることとしております。

そこで、平川市では市民のだれもが、年齢や体力に応じて、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しみ、生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を実現していくために、スポーツ環境を整え、生涯スポーツ社会を目指すため、「平川市スポーツ推進計画」を策定します。

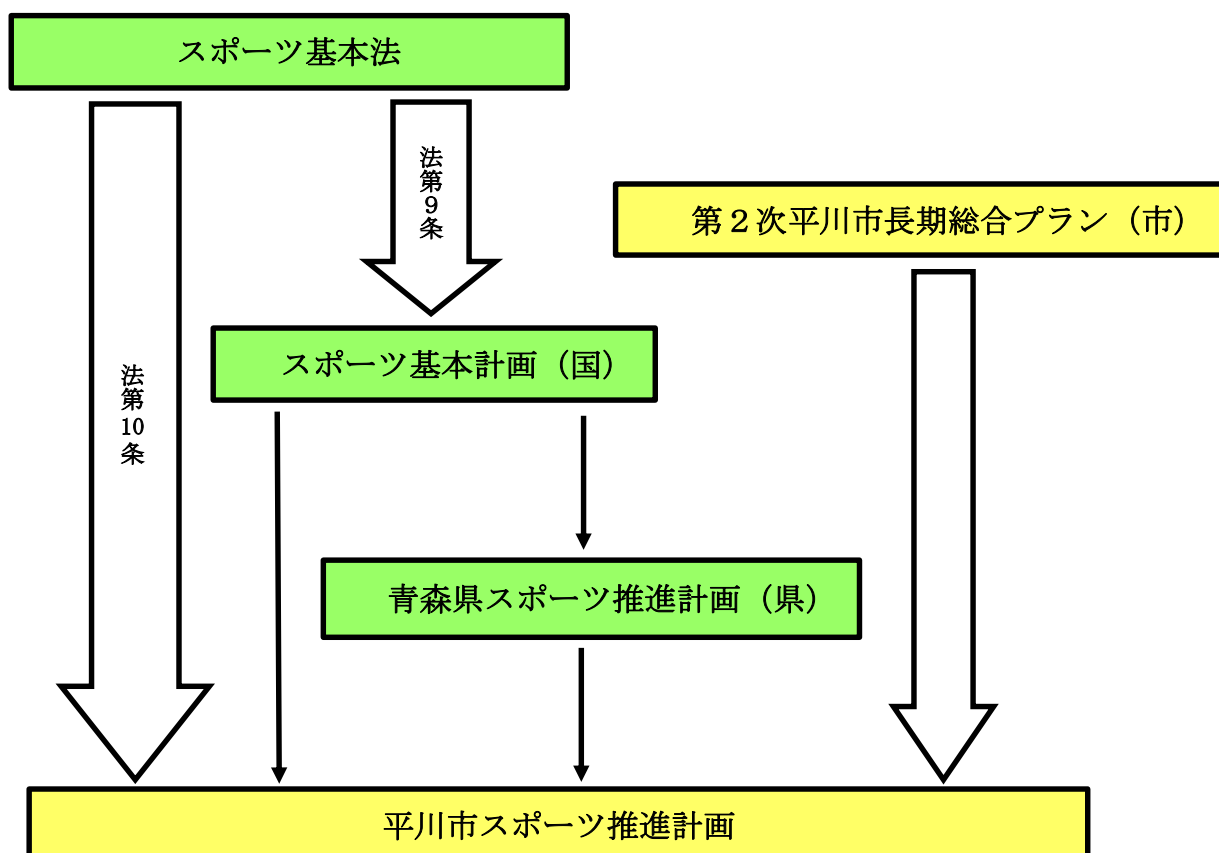


平川市ダンス演技発表会

2. 計画の位置づけ

当市は、平成 29 年度から平成 38 年度を計画期間とする「第 2 次平川市長期総合プラン」を策定し、今後 10 年間の将来像を『あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市』と定めています。「まちの輝きは市民一人ひとりの笑顔から」を合言葉に、笑顔があふれ、暮らしが輝くまちを目指します。スポーツについては、基本目標「魅力あるひとづくり」のもと、施設の整備やスポーツ・レクリエーション活動への取り組みを掲げ、計画を推進していきます。(図 1)

図 1 関係法令および各計画と平川市スポーツ推進計画の関係図



3. 計画期間

前回の「平川市生涯スポーツ推進計画」は平成 24 年度に策定され、平成 28 年度末で計画が終了しました。本計画は「第 2 次平川市長期総合プラン」前期基本計画の計画期間に合わせ、平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間とします。ただし、社会状況の変化や国のスポーツ基本計画の改定等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。



大相撲平川場所



青森県民体育大会（バレーボール競技）

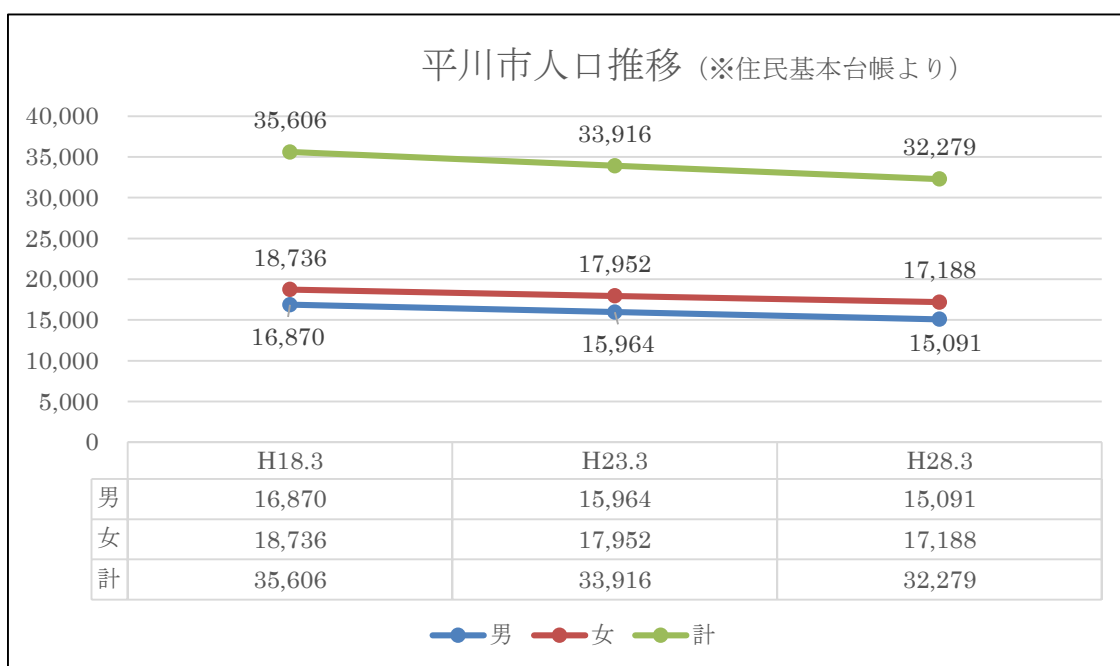
第2章 現状と課題

1. 人口について

平川市の人口は、合併した平成 18 年 3 月末時点では 35,606 人でしたが、年々減少を続け、平成 28 年 3 月末現在では、32,279 人となっています。これは、自然減と社会減が同時進行しており、その対応が喫緊の課題となっています。

当市では、人口が減少する中でも活気のある地域づくりを継続するため、子育て支援や定住促進などに重点を置き、「住みよさを実感できるまち」を目指します（図 2）。

図 2

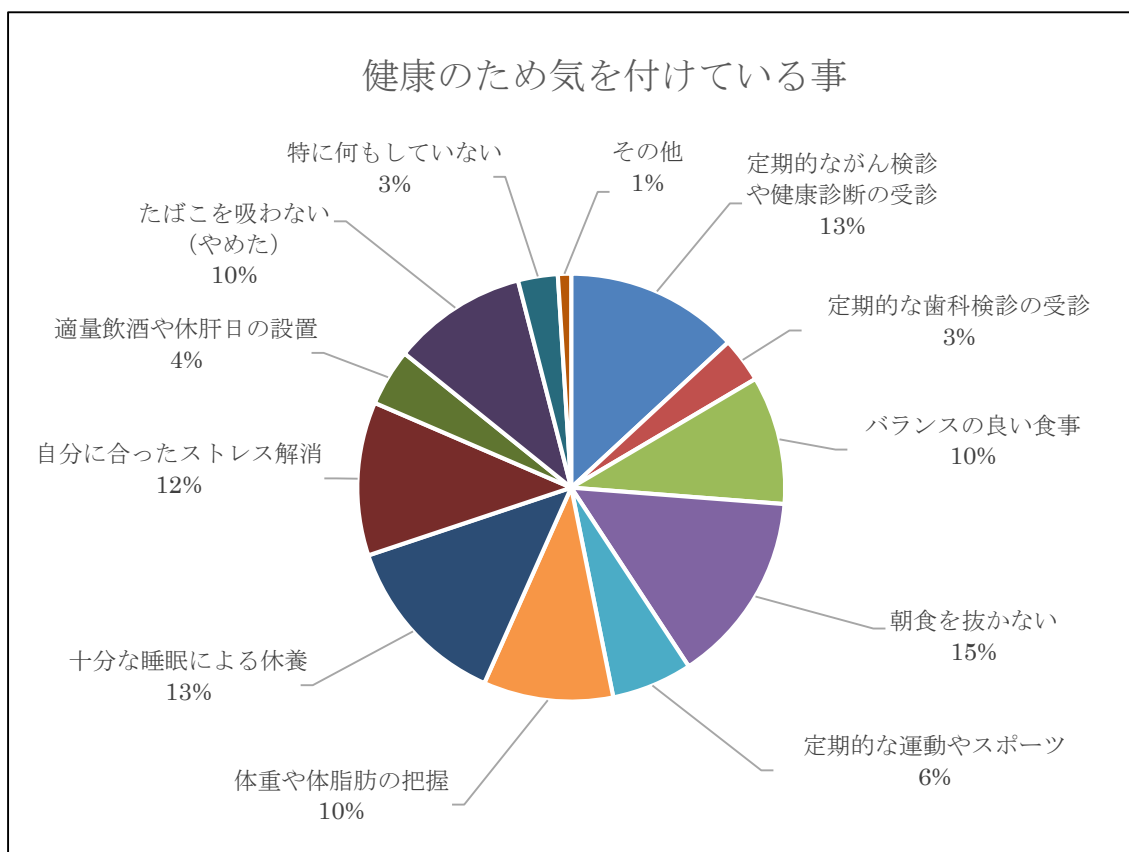


軽スポーツ巡回教室（ユニカール）

2. 健康について

市民意識調査^⑤では、健診の受診やストレス解消、食事のバランス等に気を付けている一方で、「定期的な運動やスポーツ」の割合が低い結果となっています。このことから、運動やスポーツで健康を維持する意識が薄く、運動やスポーツをする機会を増やしていくことが求められます（図3）。

図3



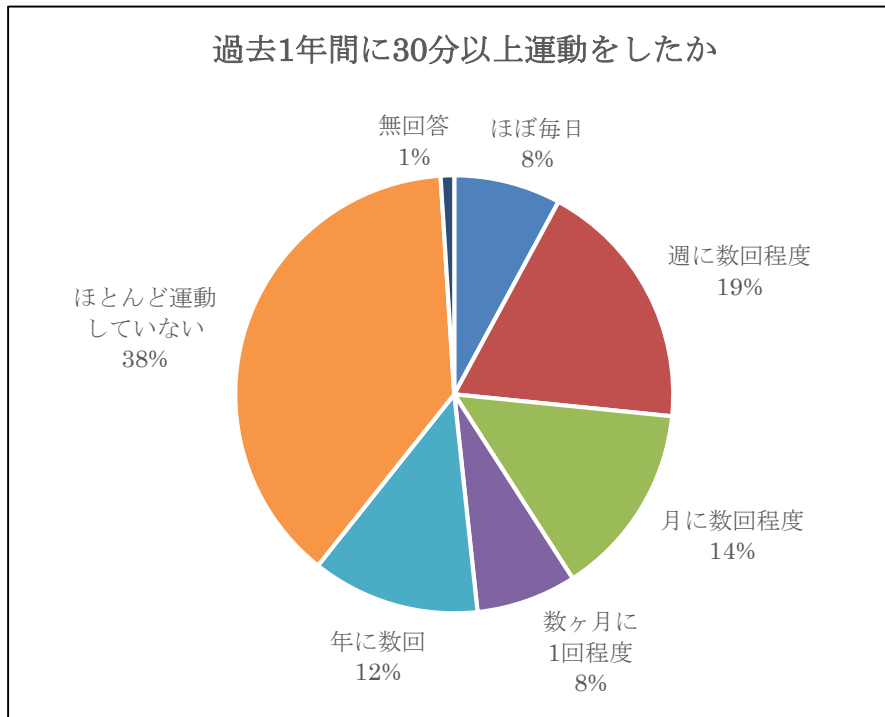
資料：H28 市民意識調査



軽スポーツ体験教室（ノルディックウォーキング）

また、「過去1年間に30分以上運動したか」について、「ほぼ毎日」および「週に数回程度」運動をした人の割合が27%であり、だれもが、いつでも、どこでも気軽に運動が行うことのできる場所の提供や環境づくりが求められます（図4）。

図4



資料：H28 市民意識調査



軽スポーツ巡回教室（体操教室）

3. 子どもの体力・運動能力について

当市の小・中学校の新体力テスト調査の結果によると、当市の児童生徒の体力は、小学5年生男女、中学2年生男女ともに、ほぼすべての測定項目で全国平均を上回っています(表1)。

表1 性別、年齢別新体力テストの全国・青森県・平川市平均値

性別	校種	学年	区分	握力 (Kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	20m シャトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	合計点 (点)
								(男子 1500m) (女子 1000m)				(小学生はソフトボール投げ)	
男子	小学生	5年	全国	16.45	19.58	33.05	41.60		51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
			県	16.74	19.94	31.42	42.20		53.60	9.57	149.74	23.17	53.55
			市	18.99	22.17	33.02	44.82		55.84	9.37	153.35	25.69	57.15
	中学生	2年	全国	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
			県	30.18	27.15	43.74	51.58	405.44	84.67	8.02	194.79	20.33	42.16
			市	29.17	28.25	45.97	53.88	373.41	77.41	8.02	199.78	22.05	43.77
女子	小学生	5年	全国	16.05	18.42	37.44	39.55		40.69	9.62	144.77	13.77	55.18
			県	16.61	18.95	35.92	40.90		44.86	9.70	143.74	14.31	55.87
			市	18.74	20.51	36.69	43.24		50.80	9.60	145.02	16.94	58.60
	中学生	2年	全国	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08
			県	23.96	22.78	45.76	45.95	300.00	56.88	8.89	164.96	12.46	48.37
			市	24.19	23.53	50.17	49.51	276.40	54.87	8.89	168.66	13.79	51.77

(平成27年度文部科学省体力・運動能力調査報告書による)

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
①握力	Kg	筋力	左右握力平均値
②上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④反復横とび	回	敏捷性	20秒間に両脚で左右測方に反復跳躍した回数
⑤持久走	秒	全身持久力	男子 1500m、女子 1000m の走破時間 (⑤・⑥は選択)
⑥20m シャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数 (⑤・⑥は選択)
⑦50m 走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑧立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑨ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	

4. スポーツ環境について

当市は、年齢や関心等に応じたスポーツ少年団やスポーツクラブ、NPO法人平川市体育協会（以下、「体育協会」という。）などがあり、幼児期から高齢者までスポーツに取り組める環境にあり、県や東北、全国大会へ出場するなど活躍しています。しかし、競技スポーツとして継続が難しい競技もあることから、新たな指導者確保と人材育成が急務となっています。

また、市民意識調査では「ほぼ毎日」および「週に数回程度」運動をした人の割合が低く、趣味の多様化によるスポーツ愛好者の減少、仕事や子育てなどでスポーツに親しむ機会を作れない市民も多いと考えられます。このことから、ライフステージに応じて気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる必要があります。

①スポーツ関連団体

市内には児童、幼児育成の場となるスポーツ少年団、ジュニアクラブ等の団体数は、平成28年12月末現在で20団体あり、団員数は582人、指導者数は96人となっております（表2）。

また、体育協会に所属するスポーツ関連団体は、平成28年12月末現在で28団体あり、所属する会員数は1,723人となっております（表3）。

さらに、ひらかわスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ®）では、平成28年12月末現在、4施設で19種目の教室を開催しており、会員数865人が健康増進、競技力向上を目的として運動を行っております（表4）。

10月には、ひらかわスポーツクラブ会員以外にも各種スポーツ教室が体験できる「ひらかわスポーツフェスティバル」やトップアスリートを招いたイベントを開催して、スポーツの普及活動を行っております。



小川直也氏柔道教室

表2 スポーツ少年団、クラブ等一覧

(平成28年12月31日現在)

N O	団名、クラブ名	競技種目													団員数①(人)	指導者数②(人)	① / ② (%)		
		軟式野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	バレーボール	バスケット	バドミントン	ノルディック	陸上	一輪車	水泳	柔道	空手				野外活動	
1	竹館スポーツ少年団	○	○						○								32	6	5.3
2	柏木スポーツ少年団	○															11	5	2.2
3	平賀東スポーツ少年団	○	○														37	7	5.3
4	ひらかべースポーツ少年団	○												○			14	5	2.8
5	尾上サッカークラブ			○													20	2	10.0
6	金田スポーツ少年団	○	○														28	7	4.0
7	猿賀スポーツ少年団	○	○														30	6	5.0
9	平賀フットボールクラブ			○													29	2	14.5
8	平川市ソフトテニス				○												42	2	21.0
10	ガンバソフトテニス				○												10	5	2.0
11	Hbbc II スポーツ少年団	○															11	7	1.6
12	平川MBCスポーツ少年団						○										29	3	9.7
13	平川 ZEPHYRS		○														13	5	2.6
14	南黒クラブスポーツ少年団	○															10	7	1.4
15	B&G 尾上海洋クラブ					○							○	○			55	15	3.7
16	平川ジュニア							○									41	3	13.7
17	ひらかわスイミングクラブ											○					49	3	16.3
18	ゆうえい館スイミング											○					30	3	10.0
19	平川ジュニアアスリート								○								62	2	31.0
20	平賀一輪車クラブ									○							29	1	29.0
	合計	8	5	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	582	96	

表3 NPO 法人平川市体育協会加盟団体一覧

(平成28年12月31日現在)

NO.	団体名	会員数(人)		
		大人	子ども	計
1	平川市インディアカ協会	23		23
2	ウエイトリフティング協会	17		17
3	平川市グラウンドゴルフ協会	123		123
4	平川市ゲートボール協会	15		15
5	平川市ソフトテニス協会	44		44
6	平川市テニス協会	15		15
7	NPO 法人スポレクダンスクラブ平川	31	16	47
8	平川市バスケットボール協会	24		24
9	平川市ボウリング協会	20		20
10	(財)日本空手協会平賀支部	5	38	43
11	平川山岳会	24		24
12	平川水泳協会	35		35
13	平川市陸上競技協会	41		41
14	平川市躰道協会	3		3
15	平川市卓球協会	21		21
16	平川市野球協会	197		197
17	平川市ソフトボール協会	45		45
18	平川市バレーボール協会	42		42
19	平川市バドミントン協会	25		25
20	平川スキークラブ	16		16
21	平川市柔道協会	23	23	46
22	平川市スポーツ少年団	308	316	618
23	平川市相撲協会	7		7
24	平川市サッカー協会	37	73	110
25	平賀歩行会	36		36
26	平川愛弓会	6		6
27	平川市ゴルフ協会	64		64
28	平川鉄人会	10		10
合 計		1,257	466	1,723

表4 ひらかわスポーツクラブ教室一覧

(平成28年12月31日現在)

NO.	教室名	会員数 (人)
1	女性のための健康エクササイズ教室	12
2	Muscle Academy(マッスル アカデミー)	12
3	硬式野球塾	37
4	ノルディックウォーキング教室	13
5	ジュニアバレーボール教室	8
6	woman the beauty(ウーマン ザ ビューティ)	7
7	こどもリズム体操教室	6
8	子供水泳教室	508
9	選手育成教室	64
10	成人水泳教室	50
11	アクアエクササイズ	18
12	健康塾	6
13	子供体操教室	33
14	ヨガ教室	34
15	カラダメンテナンス教室	8
16	レクリエーション教室	2
17	バドミントンサークル	6
18	バドミントン教室	22
19	バドミントン選手育成コース	19
合 計		865

②スポーツ推進委員

スポーツ推進委員^⑧とは、地域における住民のスポーツ活動を推進するため、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツ事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員です。

平成28年4月現在、本市には27名のスポーツ推進委員が委嘱されており、20歳代から60歳代までの男性15名、女性12名で構成されております（図5、6）。

市内の保育園や小学校のレクリエーションなどで、体操、ダンス、スキーなどの教室を開催するほか、地域のイベントで軽スポーツ巡回教室を開催し、ニュースポーツ^⑨の体験、普及活動を行っております。平成27年度の活動実績は18回の活動で参加者は1,133人となっております。

また、スポーツ推進委員自らの資質向上のため、各種研修会への参加や、他市町村との情報交換なども積極的に行っております。

図5

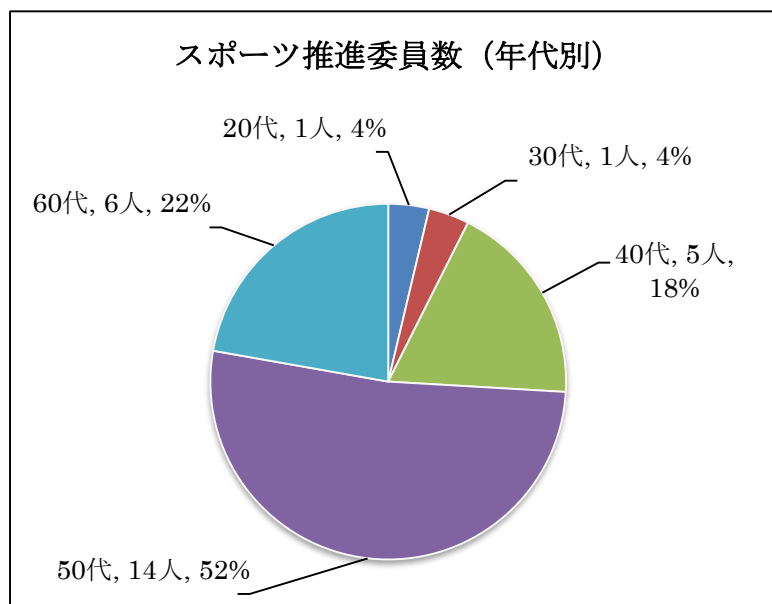
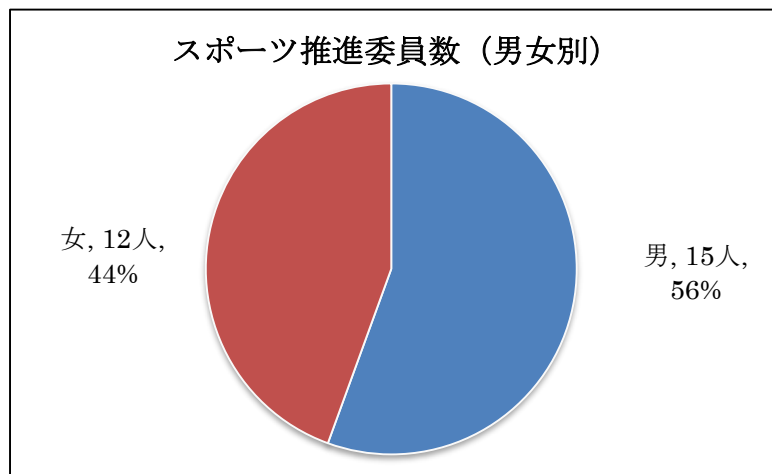


図6



5. スポーツ施策

当市ではだれもが身近に楽しめるスポーツ環境の構築を実現するため、施策を展開しております。体育協会と密接に連携しており、共同開催する大会やイベントも豊富です。

毎年行われている青森県民体育大会には 18 競技を派遣しており、県内 10 市で最も人口が少ない市でありながら、平成 22 年には、合併後のひとつの目標としていた市の部総合 3 位を達成しました。平成 26 年、28 年にも 3 位となっており、これからも参加競技を増やしつつ、各競技においても上位進出を目指すことで総合順位のさらなる躍進が期待されています。

青森県民駅伝競走大会では市の部で長く低迷しており、上位進出のために選手の発掘、育成が急務となっております。

市内の活動に目を向けると、マラソン大会、野球大会、ソフトボール大会、水泳大会など開催しており、多くの市民が参加しております。

また、プロ野球チームの東北楽天ゴールデンイーグルスによる野球教室、実業団チームを招いてのソフトボール教室を開催し、技術習得、意識の高揚を図っております。

小学生、中学生においては、さまざまな競技で東北大会、全国大会で活躍する選手が増えており、高校生、大学生、社会人においては、プロ野球のドラフト指名を受ける選手、箱根駅伝を走る選手など、未来を担うトップアスリートを輩出しております。



青森県民体育大会（ゲートボール競技）

6. スポーツ施設

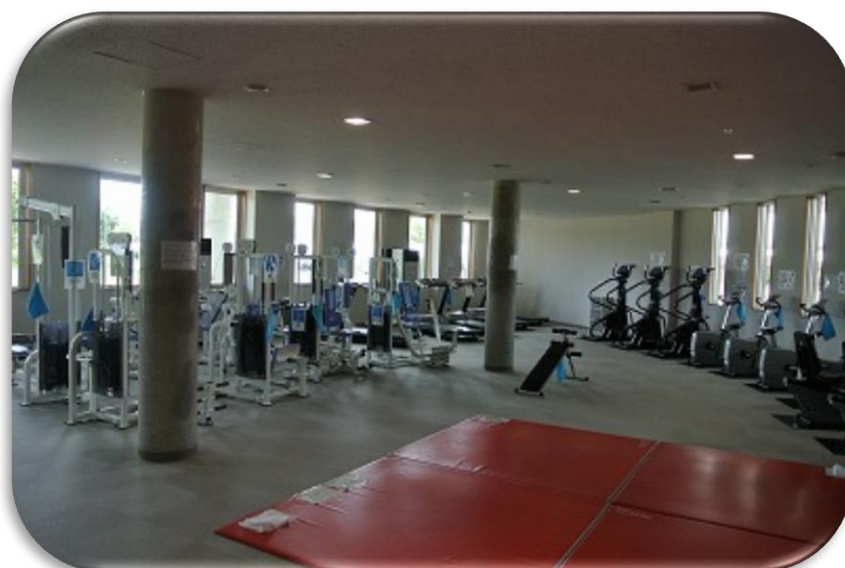
市内には多くのスポーツ施設があり、市内外から多数の利用者が訪れています。各施設は経年劣化に伴う修繕が多く、維持補修経費が嵩んでいるほか、用器具も更新を必要とするものが多くなっています。このことから、各施設の安全安心に努め維持管理することが課題となっています。

○平賀屋内運動場(ひらかドーム)

屋内運動場として、年中通して野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、フットサルなどの利用が可能となっております。また、外周はランニングコースとなっており、自分のレベルに応じたペースで周回する市民が訪れている人気スポットでもあります。

また、(株)楽天野球団と球場命名契約を締結し、「楽天イーグルスひらかドーム」と命名し、(株)楽天野球団による野球教室を開催しております。

トレーニングルームには、13種類のマシンの他、バーベルやバランスボールなどを備えており、有酸素運動、筋力トレーニング、体幹トレーニングなど幅広い運動が可能です。



○平賀テニスコート

ナイター照明のあるオムニコートを 6 面設置しています。事前予約は受け付けせず、市民が気軽に利用できる環境を考慮しています。



○平賀屋内温水プール

25m プール 7 コースと幼児用プールを有する、屋内の温水プールです。

4 公開制になっており、①10 時～11 時 45 分、②13 時～14 時 45 分、③16 時～17 時 45 分、④18 時～20 時 45 分の時間帯で営業しています。

また、初めての方から経験者の方までレベルや目的に合わせて指導を行っています。



○平賀体育館

バスケットボールコート 2 面、バレーボールコート 2 面、テニスコート 2 面、バドミントンコート 6 面が設置でき、2 階には会議室があります。

また、体育館、会議室では各種運動教室も行っています。



○尾上野球場

春先から秋の終わりにかけて各種公式大会が開催される球場です。センター120m、両翼92mの球場で、バックスタンド、イス席、内外野芝生を合わせると4,000人が収容可能です。平成26年度にナイター照明と電光掲示板を新設しました。

また、(株)楽天野球団と球場命名契約を締結し、「楽天イーグルス尾上スタジアム」と命名し、(株)楽天野球団による野球教室を開催しております。



○尾上多目的広場

平成 27 年度に完成し、両翼が 70m ある多目的広場です。少年野球から還暦野球、ソフトボールなどの競技で利用されています。

また、サッカーやグラウンドゴルフなど様々な競技に利用できます。



○尾上テニスコート

最近では珍しい全面ハードコートのテニスコートです。ハードコート 5 面を設置しており、ナイター照明を完備しております。こちらのコートは予約可能です。



OB&G 尾上体育館

この体育館は昭和 57 年 3 月に B & G 財団により建設され、昭和 60 年 4 月に無償譲渡されました。

体育館には、バスケットコート 1 面、バレーボールコート 2 面、バドミントンコート 3 面、卓球台 10 台が設置できます。

その他、会議室、武道館があり、武道館の面積 200 m²で、柔道のほか、空手、躰道競技が可能です。

また、体育館、会議室では各種運動教室も行っています。



○碓ヶ関屋内温水プール(ゆうえい館)

25m×8 コースの日本水泳連盟公認プールと 18m×3 コースのサブプール、アメニティプール(ジャグジー)を有する屋内温水プールです。

平日は②～④の3公開制、土日祝および長期夏季休暇期間は4公開制になっており、①10時～11時45分、②13時～14時45分、③16時～17時45分、④18時～20時45分の時間帯で営業しています。

また、トレーニングルームもあります。



○小・中学校体育館

市内の小・中学校の体育館は、児童・生徒の心身の両面にわたる健全な発育・発達に資するものとして、スポーツ活動などが実施され、学校教育活動の一環として運動部活動などが行われる重要な施設となっています。

さらに、学校では学校教育活動以外でも、各種競技団体などに体育館の開放をしており、広く市民が利用できる施設として非常に重要な役割を担っております。

利用する各種競技団体などは、学校体育館の使用におけるマナーを守り、利用者責任を負うことで学校との信頼関係を築き、継続して利用しております。

課題としては、今後も安全安心な環境づくりに努め、体育館の老朽化、児童・生徒数の減少などを考慮し、中・長期的な計画による修繕などを行う必要があります。



7. スポーツ施設利用実績(表 5)

表 5 施設別年度別利用集計表

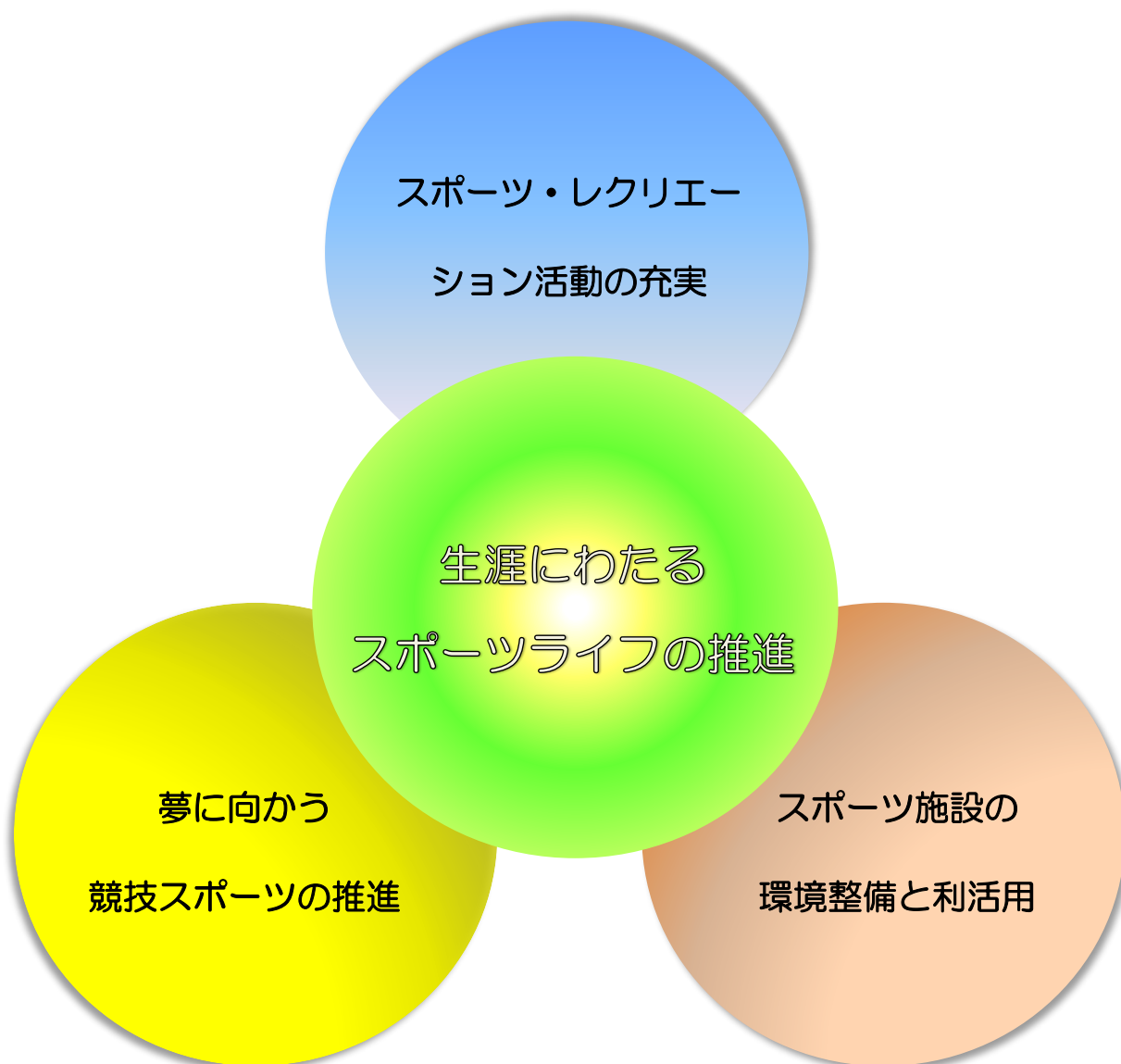
区 分		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		利用者 (人)	利用料 (円)	利用者 (人)	利用料 (円)	利用者 (人)	利用料 (円)
平賀屋内運動場 (ひらかドーム)	屋内運動場	37,542	5,553,350	44,563	5,698,650	38,663	5,131,735
	会議室	11,326	179,700	9,624	329,030	7,236	220,380
	ランニングコース	8,547		7,665		6,336	
	トレーニングルーム	11,948	2,215,800	12,445	2,437,010	15,177	3,050,440
平賀屋内温水プール		33,744	5,815,500	31,974	5,557,620	30,375	5,310,170
平賀テニスコート		10,872	1,705,200	11,499	2,017,930	11,370	2,036,600
平賀体育館		33,076	2,895,950	28,326	2,923,515	25,951	2,346,315
平賀体育館会議室		2,380	0	3,002	265,935	1,507	0
平賀グラウンド		12,935	194,100	10,917	227,690	廃 止	
B&G 尾上体育館 (武道館、ミーティングルーム含む)		20,954	2,715,070	23,961	1,764,448	26,480	2,502,010
尾上野球場		4,591	306,450	8,312	1,249,965	11,625	1,202,090
尾上テニスコート		3,630	844,300	5,107	1,109,050	5,103	1,153,540
尾上多目的広場 (平成 27 年度完成)						1,895	44,780
尾上体育館		26,250	2,940,695	22,490	2,078,920	25,980	2,322,760
碓ヶ関屋内温水プール (ゆうえい館)		18,842	3,235,150	20,845	2,742,377	20,821	2,879,980
合 計		236,637	28,601,265	240,730	28,402,140	243,136	28,200,800

※利用料は減免も含む

第3章 これからの方針、スポーツ推進計画

1. 基本方針

当市が第2次平川市長期総合プランに掲げた「生涯にわたるスポーツライフの推進」を踏まえ、平賀屋内運動場（ひらかドーム）を拠点とし、市民が気軽に運動に親しむことができる環境づくりに努めます。また、市民の誰もがスポーツ活動に参加できる機会を提供するとともに、全国大会等で活躍する選手育成を支援するなど、競技力向上に努め、「スポーツで元気なまち」を目指します。



2. スポーツ・レクリエーション活動の充実

①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

年齢や性別、障がい等を問わず市民の誰もが、年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、各種スポーツ大会・教室を開催するとともに、体育協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員等と連携・協力し、スポーツに親しむことができる環境づくりを図ります。

また、社会教育施設や文化施設を利用した軽スポーツイベントなどの開催を通じて、子どもたちにスポーツに触れ合う機会を提供するとともに、青少年の豊かな成長と心を育み、より良い社会環境づくりを実現するため、青少年育成機関等と連携を図りながら、青少年健全育成も推進していきます。

【主な取組】

(1) 多様なスポーツ活動の普及・促進

- ・ 広報・啓発活動の推進やスポーツ情報の提供を図り、市民のスポーツ・健康づくりに対する意識の高揚に努めます。
- ・ 体育協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員等と連携し、生涯スポーツ振興の視点から、世代を超えて気軽に親しめるニュースポーツの普及を推進します。

(2) スポーツ指導者の育成・確保

- ・ 市民の多様なスポーツニーズに応じるため、スポーツ推進委員などの指導者育成・確保に努めます。
- ・ 体育協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員等と連携し、スポーツ指導者およびスタッフの育成・確保に努めます。

(3) 社会教育施設等の利活用

- ・ 生涯学習や文化イベントを通じた軽スポーツの普及・推進を図り、青少年の健全育成に努めます。



軽スポーツ巡回教室（スキー教室）

②総合型地域スポーツクラブの育成

総合型地域スポーツクラブは、地域住民が主体的に運営する形態のスポーツクラブです。これらの運営にあたっては、熱意と能力のある人材が必要不可欠であり、核となる人材の育成、確保が課題となります。また、活動を活発にするためには会員の募集、確保も重要であり、その宣伝方法や運営方法も課題となります。

これらの課題をクリアするための助言・指導を行う環境づくりを進めます。

【主な取組】

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成

- ・総合型地域スポーツクラブのスタッフ育成および広報活動を支援します。
- ・総合型地域スポーツクラブの支援と学校との連携を図ります。
- ・体育協会とスポーツ少年団等と連携を図り、活動場所の確保および会員確保の支援に努めます。



豊田自動織機シャイニングベガソフトボール教室



青森県民体育大会（野球競技）

③健康づくりのための運動の推進

市民一人ひとりが生涯健康であるためには、食生活の改善や運動の習慣化等が重要です。当市は、平成 27 年度に制定した「平川市いきいき健康長寿のまちづくり」条例に基づき、生活習慣改善事業や健康講座を実施するとともに、地域が行う自主的な健康づくりを支援することで、健康づくりのための運動を推進します。

また、健康づくりの運動を推進するために、体育協会と事業の連携を図り、施設を利用して様々な教室を開催しています。

【主な取組】

(1) 健康づくりのための運動の推進

- ・関係部局と協力し、健康づくりのための運動を推進します。
- ・有酸素運動や筋力トレーニング、ストレッチ等でストレス解消、転倒予防や認知予防を目指します。
- ・生活習慣病予防のため、運動と栄養の講座を行い、運動習慣を身につけることを目指します。
- ・町会や市内事業所が自主的に行う健康づくり活動を支援します。
- ・市内在宅介護支援センターに委託して、運動、認知、口腔の各機能と栄養改善を取り入れたプログラムの実施を支援します。



健康推進課「運動講座」の様子



3. 夢に向かう競技スポーツの推進

①次世代を担うアスリートの発掘・育成

健康づくりのための軽運動や、スポーツを楽しむことを趣旨として始めた人の中にも、勝つことの楽しさを感じたり、演技の精度、点数を上げたい、記録を更新したいという競争意識が芽生え、より高みを目指して競技スポーツに取り組む人もいます。

そこで、東北大会や全国大会、また世界大会へ出場するだけでなく、市民に勇気や感動を与え、子どもたちのスポーツに対する興味や意欲を高めるとともに、大舞台で活躍できるスポーツ選手の育成に努めます。

そのためには、幼少期からスポーツに触れ合う機会の提供や教育の取り組み、次世代のトップアスリートの発掘などが課題となります。小中学校や、スポーツ少年団、スポーツクラブ等との情報共有を図り、人材の発掘や育成に努めます。

【主な取組】

- (1) 全国大会等で活躍できる選手の発掘・育成
 - ・小中学校やスポーツ少年団等と連携を図り、高い能力を発揮するジュニア選手の発掘、育成、強化のための体制を整備します。
- (2) 指導者の育成
 - ・指導者の養成および資質向上を図るため、専門研修を受講する指導者を支援します。
- (3) トップアスリートによる指導、育成強化
 - ・トップアスリートを招いてスポーツ講習会等の開催を図ります。
 - ・高度な技術に触れることのできるスポーツイベントの誘致を図ります。



東北楽天ゴールデンイーグルス野球塾

4. スポーツ施設の環境整備と利活用

①施設の維持管理および利活用

既存の施設に加え、新たに建設した施設を最大限有効活用し、市民が生涯にわたってスポーツに取り組める環境づくりに努めます。また、老朽化が進んでいる施設について、安全で安心して利用できるよう、施設の総合的な整備および継続的な維持管理に努めるとともに、利用状況や各種大会の情報等を提供するなど効率的な利活用を推進します。

【主な取組】

(1) 施設管理と利活用の促進

- ・施設・設備等の適正管理を行いながら、老朽化に伴う新たな施設の整備を図るとともに、長寿命化を図ります。
- ・スポーツイベントや各種教室等の開催により、運動に取り組む市民の意識の高揚を図りながら施設利用者の増加に努めます。

【新たに建設した施設】

○平川市陸上競技場

平成 29 年度に供用開始の陸上競技場は、日本陸上競技連盟公認の第 4 種競技場として、8 レーン全天候型の一周 400m トラックとなっており、ナイター照明も完備しております。フィールドでは走幅跳、三段跳、走高跳、棒高跳、砲丸投、やり投げ等の競技が可能な他、サッカーコートとしても利用できます。

また、観覧場は芝生スタンドとなっております。



○平賀多目的広場

陸上競技場と共に平成 29 年度供用開始の多目的広場は、野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフなど様々な競技やスポーツ・レクリエーションに利用できます。



【建設を検討している施設】

○平川市民体育館(仮称)

昭和 50 年に建設した平賀体育館の老朽化が著しいため、平川市民体育館（仮称）の建設を検討しています。



完成予想外観図

5. 平川市スポーツ推進計画施策の体系図

個別目標	主要施策	主な取組	
生涯にわたるスポーツライフの実現	スポーツ・レクリエーション活動の充実	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報・啓発活動の推進やスポーツ情報の提供を図り、市民のスポーツ・健康づくりに対する意識の高揚に努めます。 ○ 体育協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員等と連携し、生涯スポーツ振興の視点から世代を超えて気軽に親しめるニュースポーツの普及を推進します。 ○ 市民の多様なスポーツニーズに応じるため、スポーツ推進委員などの指導者育成・確保に努めます。 ○ 体育協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員等と連携し、スポーツ指導者およびスタッフの育成・確保に努めます。 ○ 生涯学習や文化イベントを通じた軽スポーツの普及・推進を図り、青少年の健全育成に努めます。
		総合型地域スポーツクラブの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合型地域スポーツクラブのスタッフ育成および広報活動を支援します。 ○ 総合型地域スポーツクラブの支援と学校との連携を図ります。 ○ 体育協会とスポーツ少年団等と連携を図り、活動場所の確保および会員確保の支援に努めます。
	夢に向かう競技スポーツの推進	健康づくりのための運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係部局と協力し、健康づくりのための運動を推進します。 ○ 有酸素運動や筋力トレーニング、ストレッチ等でストレス解消、転倒予防や認知予防を目指します。 ○ 生活習慣病予防のため、運動と栄養の講座を行い、運動習慣を身につけることを目指します。 ○ 町会や市内事業所が自主的に行う健康づくり活動を支援します。 ○ 市内在宅介護支援センターに委託して、運動、認知、口腔の各機能と栄養改善を取り入れたプログラムの実施を支援します。
		次世代を担うアスリートの発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校やスポーツ少年団等と連携を図り、高い能力を発揮するジュニア選手の発掘、育成、強化のための体制を整備します。 ○ 指導者の養成および資質向上を図るため、専門研修を受講する指導者を支援します。 ○ トップアスリートを招いてスポーツ講習会等の開催を図ります。 ○ 高度な技術に触れることのできるスポーツイベントの誘致を図ります。
	スポーツ施設の環境整備と利活用	施設の維持管理および利活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設・設備等の適正管理を行いながら、老朽化に伴う新たな施設の整備を図るとともに長寿命化を図ります。 ○ スポーツイベントや各種教室等の開催により、運動に取り組む市民の意識の高揚を図りながら施設利用者の増加に努めます。

《参考資料》

○用語解説

① スポーツ（スポーツ基本法 前文から）

スポーツは、世界共通の人類の文化である。

スポーツは、心身の健全な発達、健康および体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。

（略）

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協働する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。

また、スポーツは、人と人との交流および地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。

さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。

（略）スポーツは、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与するものである。

（略）スポーツは、我が国の国際的地位の向上にも極めて重要な役割を果たすものである。

② スポーツ基本法

スポーツ振興法（昭和36年）を50年ぶりに全部改正し、スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国および地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるもの。平成23年6月に公布、同年8月から施行された。

③ スポーツ基本計画

「スポーツ基本法」に基づき、平成24年3月に策定された。

この計画においては、今後のスポーツの推進の主要な課題として、7項目を掲げ、それぞれ平成24年度から10年程度を見通した概ね5年間の政策目標を設定するとともに、そのために必要な具体的施策を盛り込んでいる。

④ 青森県スポーツ推進計画

平成 28 年度から平成 33 年度までの 6 年間の新たな計画として策定された青森県スポーツ推進計画。青森県のこれまでの取組の成果や平成 26 年に策定された「青森県基本計画」の考え方、そして国の計画を踏まえて、社会の新たな変化に対応したスポーツの推進を図るため、今後の青森県のスポーツ推進施策の方向性を示す計画。

⑤ 市民意識調査

第2次平川市長期総合プランの策定に先立ち、現在のまちづくりの「進み具合」を市民に評価していただき、また、市民が普段どのようなことを感じ、どのような点を重要と考えて活かされるのかを把握するための調査。

- ・調査期間 平成28年5月23日～6月10日
- ・調査客対数 2,000人（年齢区分ごとに無作為抽出）
- ・回答者数 734人

⑥ 新体力テスト調査

当市では、文部科学省で示す「新体力テスト実施要項」に基づき、小学校、中学校の男女児童生徒を対象に体力調査を実施している。

・平成27年度標本数

小学生	5年男子	131名	5年女子	132名
中学生	2年男子	150名	2年女子	131名

・新体力テスト

握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走（12歳以上選択）
20m シャトルラン（11歳以下必実施、12歳以上選択）・50m 走・立ち幅とび
ボール投げ

⑦ 総合型地域スポーツクラブ

地域住民によって自主的・主体的に運営されるスポーツクラブである。子どもから大人まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人が（多種目）、初心者からトップレベルまでそれぞれの趣向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持つ。

⑧ スポーツ推進委員（旧「体育指導委員」）

市町村の教育委員会は市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、スポーツ推進委員を委嘱しています。役割としては、近年、スポーツの実技指導やその他スポーツに関する指導および助言のみならず、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整としての役割が重要性を増していることから、こうした職務が規定上追加されるとともに、当該職務をより適切に表す観点から、「スポーツ推進委員」に名称変更された。（スポーツ基本法第32条）

⑨ ニュースポーツ

誰でも気軽にすぐ楽しむことのできることを目的に新しく考案され、アレンジされたスポーツの総称。軽スポーツ、やわらかいスポーツ、レクリエーションスポーツとも呼ばれる。

平川市スポーツ推進審議会委員名簿

任期：平成28年6月1日～平成30年5月31日

NO.	氏名	所属団体・役職	備考
1	齋藤 誠	平川市スポーツ推進委員 委員長代理	
2	須々田 孝聖	平川市校長会 推薦 (猿賀小学校長)	
3	桑田 純也	平川市連合 PTA 会長 (松崎小学校 PTA 会長)	
4	阿部 克則	平川市子ども会育成協議会 会長	
5	角田 幸春	平川市行政委員連絡協議会 理事	副 会 長
6	須々田 勝久	平川市社会福祉協議会 事務局長	
7	樋口 光郎	NPO 法人平川市体育協会 事務局長	会 長
8	大湯 博美	NPO 法人平川市体育協会 理事	
9	工藤 育代	平川市連合婦人会 書記	
10	野呂 真喜子	平川市健康推進課 保健師	

平川市スポーツ推進委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

NO.	氏名	種目・特技	備考
1	齊藤 晃	ボウリング	
2	福士 明好	バレーボール	
3	岸 裕之	バドミントン	
4	佐々木 昌子	テニス	
5	小林 昭夫	スキー（アルペン）	
6	大湯 博美	エアロビック	
7	船水 創	軽スポーツ	委員長
8	藤田 道成	ソフトボール	
9	成田 健	柔道	
10	葛西 智江子	水泳	
11	今井 節男	野球	
12	齋藤 誠	ソフトボール・インディアカ	委員長代理
13	高木 千代子	ダンス・エアロビック	
14	岩渕 桂	ヨガ・フィットネス	
15	山田 恵子	水泳	
16	山本 幸子	ノルディックウォーキング	
17	山田 時子	陸上・スキー（クロカン）	
18	鳴海 貴嗣	野球・バドミントン	
19	谷川 富士子	スキー（アルペン）・バドミントン	
20	武田 一史	バスケットボール	
21	木村 圭佑	バスケットボール・自転車	
22	工藤 雅弘	卓球	
23	下山 美津子	ソフトボール・水泳	
24	松田 良昭	陸上・ゴルフ	
25	小田桐 真由美	ソフトテニス	
26	清藤 節子	バレーボール	
27	小田切 仁志	陸上	



平賀屋内運動場（ひらかドーム）

平川市スポーツ推進計画

- 発行年月 平成29年3月
- 発行 平川市教育委員会
- 編集 平川市教育委員会保健体育課（ひらかドーム内）
〒036-0115 青森県平川市新館野木和48
TEL : 0172-43-0660
FAX : 0172-43-0661
E-mail : hokentaiiku@city.hirakawa.lg.jp